

2020年12月期・2021年3月期

IFRSの決算対策

第1章

金利指標改革・概念FWなど

強制適用・早期適用可能な 基準の概要と留意点

有限責任 あずさ監査法人 公認会計士 三宮 朋広

第2章

否定された会計処理は遡及的変更が必要

IFRICアジェンダ決定 の概要と留意点

有限責任 あずさ監査法人 公認会計士 鶴谷 香穂

第3章

政府補助金、賃料減免、継続企業の前提など

コロナ禍を踏まえた IFRS基準の実務論点

有限責任 あずさ監査法人 公認会計士 渡部 瑞穂

今号では、2020年12月期・2021年3月期向けの、IFRSの決算対策をお届けする。今期は、LIBORの恒久的停止に対応した金利指標改革関連の改訂がフェーズ1については強制適用、フェーズ2については早期適用可能となっており、デュー・プロセス・ハンドブック改訂によりアジェンダ決定の位置づけが見直されている。

また、今期特有の論点として、IFRSでコロナ禍による影響を開示する際、どのような点に留意すべきかについても解説していただいた。今後の実務の参考にいただければ幸いである。